



おかげさまで第一生命は、2012年9月に
創立110周年を迎えます。

2012年5月7日

第5回『ダイバーシティ経営大賞』（東洋経済新報社主催）において 「大賞」を受賞

第一生命保険株式会社（社長：渡邊光一郎）は、東洋経済新報社が主催する第5回『ダイバーシティ経営大賞』において、「大賞」を受賞しました。『ダイバーシティ経営大賞』における「大賞」の受賞は金融機関では初となります。

『ダイバーシティ経営大賞』は、多様な人材を重要な経営資源として活かす新たな経営手法であるダイバーシティ経営を企業理念に掲げ、その実践を先進的に進める企業を表彰するものです。

当社グループでは、グループの持続的成長のためには従業員一人ひとりの成長が不可欠との考えの下、ダイバーシティを経営戦略として掲げ取り組んでいます。

当社グループにおけるダイバーシティの位置づけは以下のとおりです。

- ・ 経営基本方針の4本柱（※1）の一つに「職員・会社の活性化」を掲げています
- ・ 第一生命グループの企業行動原則「DSR憲章」（※2）の8項目の一つに「ダイバーシティ」を置いています
- ・ ダイバーシティの中長期ビジョンを「ダイバーシティ推進取組方針」として策定し、社内外に公表しています
- ・ 2011-12年度中期経営計画の中で、ダイバーシティの推進に取り組むことを明記しています

（※1）経営基本方針の4本とは「最大のお客さま満足の創造」「持続的な企業価値の創造」

「社会からの信頼確保」「職員・会社の活性化」

（※2）「DSR憲章」とは、お客さま、社会、株主・投資家の皆さま、従業員からの期待に応え続けるための企業行動原則であり、「お客さま満足」「コミュニケーション」「企業価値」「コンプライアンス」

「ダイバーシティ」「人権尊重」「環境保護」「社会貢献」の8項目から構成されている

今回の受賞は、当社グループが経営戦略であるダイバーシティの実現に向けて、全社でP D C Aを回しながら取り組んだ結果が総合的に評価されたものと考えています。

当社グループにおけるダイバーシティ推進に向けた具体的取組については以下をご覧ください。

当社グループでは、グループビジョン「いちばん、人を考える会社になる。」を制定しています。このビジョンには、お客さま、社会、株主・投資家の皆さま、従業員など当社が関わる様々な「人（ステークホルダー）」のことを真剣に考える、という思いを込めています。当社は、今後ともダイバーシティの推進に積極的に取り組んでまいります。

～当社のダイバーシティ推進に向けた主な取組み～

<意識・行動改革に向けた取組>

2011年度は職員の意識・行動改革のために、「仕組み化」と「見える化」を徹底して推進しました

□「仕組み化」

- ・すべての所属に「ダイバーシティ推進責任者」（各所属の総括管理職）とダイバーシティ推進者（女性職員の代表）を任命
- ・すべての所属でダイバーシティ推進取組計画を策定
- ・全女性職員がダイバーシティ推進に向けた課題を設定

□「見える化」

- ・「ダイバーシティ推進大会」の開催・・・社長を始め全役員、本社部長、ダイバーシティ推進責任者、ダイバーシティ推進者が参加し、ダイバーシティ推進の好取組事例を共有
- ・ダイバーシティ推進者研修・・・好取組事例の共有、取組に関する意見交換を実施
- ・ブロックリーダーの任命・・・ダイバーシティ推進へのアドバイスとブロック内で好取組事例の共有のために女性管理職をブロックリーダーに任命
- ・ダイバーシティNEWSの発行－好取組事例をニュースとして社内全国に発信

<女性職員の継続的な役職登用・キャリア開発支援>

□ポジティブアクションプログラム

- ・選抜女性管理職塾・・・部長候補のマネジャーを対象として開催
- ・マネジャー養成塾・・・マネジャー候補のアシスタントマネジャーを対象として開催
- ・アシスタントマネジャー養成塾・・・アシスタントマネジャー候補の業務リーダーを対象として開催
- ・業務リーダー養成塾・・・業務リーダー候補のアソシエイトを対象として開催

□キャリアサポートプログラム

- ・社内トレーニー・・・社内の他所属の業務を体験する短期留学制度
2011年度1,100名が参加、2006年度以降延べ4,000名の女性職員が参加
- ・社外トレーニー・・・他企業への短期留学制度
2011年度104名の女性職員が参加
- ・キャリアチャレンジ制度・・・人事異動による新たな職務へのチャレンジを公募する制度
- ・コンサルティングサポートプログラム・・・新たに営業職務に就く女性職員に向けた支援策